

EXPRIT TOYOTA RACING

全日本カート選手権参戦報告書

第9戦/第10戦ツインリンクもてぎ北ショートコース

■開催日：10月25～26日 ■天候：晴れ

■路面状況：ドライ ■参加台数：27台

最終ラウンドで全ヒートトップチェッカー 逆転でシリーズチャンピオン獲得!!



オートバックス全日本カート選手権 KF シリーズ第9戦・第10戦が10月25～26日に栃木県・ツインリンクもてぎ北ショートコースで開催された。

前回の第8戦までの結果で、トップから15ポイント差のランキング3位につける宮田は、まだまだタイトル獲得の可能性を残すチャンピオン有力候補の一人としてこの大会に臨んだ。

今大会も、1大会2レース制が採用され、予選と決勝合わせて最大で70ポイントを獲得できる。また、全日本選手権では全10大会のうち獲得ポイントの多い8大会を集計する有効ポイント制が採用されているため、チャンピオン争いはまだまだ予断を許さない状況となっていた。

タイムトライアル (36.534 / 3位)

今回も後組のBグループ出走となった宮田。比較的多めの10周を周回し、チャンピオンの資格を持つ4人のうちでは最上位となる総合3番手タイムをマーク。第9戦、第10戦の予選ヒートを、ともに2列目3番グリッドからスタートすることとなる。

第9戦：予選1位・決勝1位

第9戦の予選ではフロントロー2台の加速が鈍った隙を逃さずホールショットを獲得。そのまま後続を引き離すように周回を重ねていく。後方ではランキングトップの選手がトラブルで

ストップ。宮田は最後までトップを譲ることなく、決勝のポールポジションを獲得した。

決勝でも好スタートを見せ、一時は2番手に順位を下げたものの、トップの選手をマークしながら周回を重ねていく。レース終盤までじっくりと観察すると、満を持して15周目にパス。トップに立ってからはつけいる隙を与えずに守りきり、嬉しいKF初優勝を飾った。

この第9戦で予選、決勝を完全制覇したことで35ポイントを獲得。この時点で一躍ランキングトップに浮上し、次の第10戦の結果次第では他の選手の結果に関わりなくチャンピオンを獲得できる状況となった。

第10戦：予選1位・決勝1位

迎えた今季最終戦。3番グリッドからスタートした予選ヒートでは、トップグループの中でじっくりと周回を重ねて、チャンスを伺うと終盤13周目にトップに浮上。そのまま逃げ切り、第9戦に続きまたも予選を制し、決勝PPを獲得した。

決勝ではスタートでトップを譲るものの、タイムを落として後半勝負にかけたい相手の作戦に嵌ることなく、9周目にトップを奪う。その後はまったく危なげなく周回を重ねていくと、そのまま2連勝のチェッカーへ。ポイントをさらに伸ばし、逆転で全日本最高峰のKFクラスチャンピオンを獲得した。

Driver's Voice

まだ現実なのかわからないような夢心地です。今回の目標としては、チャンピオンよりもまずは勝って終わりたいのですが、それが予選、決勝とすべて1位で逆転チャンピオンというのは自分でも想定外でした。第9戦が終わってからポイントも考えてはいましたが、勝って終わりたい、という気持ちの方が強かったと思います。

今は自分が幼い頃から憧れていた最高峰チャンピオンという存在になったわけですが、まだ夢のようで実感ありません。

今季は鈴鹿まではトップを走ることがあっても、後半にはベテランの選手のタイヤの使い方に負けて、表彰台に乗るのが精一杯。SUGOでもベテランのうまさやられていたので、今回はすべて勝って良かったと思います。

ただ、本当に現実なのか……。嬉しいんですけど現実感がないですね。

今シーズン、ご支援頂いたスポンサーの方々に感謝いたします。ありがとうございました。



宮田莉朋

みやた りとも
神奈川県出身 15歳
2013年、KF2クラスにおいて全日本選手権にデビュー。開幕戦で初優勝を飾ると、全戦で表彰台に上がる活躍を見せランキング2位を獲得。今季から最高峰クラスへ挑む

TOYOTA
Racing



Training Japan™



高木虎之介代表

最後2連勝しないとダメということ
で、チームは準備をすべて整えていた。
事前のタイヤテストでも、勝つためにタ
イムアタックの練習などもさせてもら
ったし、あとはチェッカーまで1位で持っ
てくるのはドライバー次第だった。

今回はドライバーが頑張ってくれ、そ
れに応えられる車も用意できた。まさか、
こんなうまくいくとは思わなかった。
2連勝しても、相手が2位などに入れば
結果は違っていたが、最後に強さの差が

出せたんだと思う。ドライバーは予選で
も2回ともトップを獲ったし、強さを
出してくれた。ただ、このチャンピオンは
まだ通過点だと思っている。

今年から新しいチームを立ち上げ、新
しく始めるからには今までと違うこと
をしなければならぬと考えていたが、
チャンピオンを獲れたということは、い
いマシンを用意できたということだろ
う。スタッフもメカニックも頑張ってく
れた。エンジンもチューナーの増田氏が

誰もいなくなるまで面倒を見てくれ、
そのすべてが最後に結集したんだろう。

カートレースも、まだ続けさせよう
とは思っている。やはりカートが重要だ
ということは、今シーズンの内容からも十
分に感じられ、カートとフォーミュラを
両立してやらせるようにしたい。

最後に、一年間、多大なご支援を頂い
たスポンサー各位、関係者の方々に御礼
申し上げます。ありがとうございました。

RESULTS

第9戦

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	20 宮田莉朋	EXPRIT TOYOTA RACING	EXPRIT	TM	DL	36.534	3 1
2	9 佐々木大樹	INTREPID JAPAN	INTREPID	TM	BS	36.417	1 3
3	30 小高一斗	TOYOTA YAMAHA RT	SWF	IAME	BS	36.742	12 6
4	19 菅波冬悟	SUCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS	36.684	9 4
5	24 小川貴大	TONYKART RT JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	36.822	16 10
6	7 佐々木大河	MASUDA RP	FA-KART	TM	DL	36.710	10 8
7	12 阪口晴南	ART GP Japan	ART GP	TM	DL	36.581	4 26
8	11 白石優太	KOSMIC RTJ	KOSMIC	VORTEX	DL	36.830	17 12
9	26 大湯都史樹	TONYKART RT JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	36.789	14 14
10	10 山川仁也	ZANARDI JAPAN	ZANARDI	TM	DL	36.673	8 7

第10戦

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	20 宮田莉朋	EXPRIT TOYOTA RACING	EXPRIT	TM	DL	36.534	3 1
2	3 朝日ターボ	MASUDA RP	FA-KART	TM	DL	36.594	5 2
3	9 佐々木大樹	INTREPID JAPAN	INTREPID	TM	BS	36.417	1 3
4	30 小高一斗	TOYOTA YAMAHA RT	SWF	IAME	BS	36.742	12 22
5	18 清原亮太	SUCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS	36.635	6 5
6	10 山川仁也	ZANARDI JAPAN	ZANARDI	TM	DL	36.673	8 7
7	17 前田 樹	TECH MIYAZAWA Snap-on Motorsports	KOSMIC	VORTEX	DL	36.843	18 14
8	11 白石優太	KOSMIC RTJ	KOSMIC	VORTEX	DL	36.830	17 23
9	4 平木玲次	TONYKART RT JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	36.934	22 25
10	25 上村昌史	TONYKART RT JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS	36.818	15 12

ポイントランキング

Pos.	Driver	累計	有効
1	宮田莉朋	261	231
2	朝日ターボ	215	213
3	阪口晴南	227	211
4	菅波冬悟	237	209
5	佐々木大樹	158	158
6	佐々木大河	147	146
7	大湯都史樹	158	141
8	清原亮太	144	137
9	小高一斗	125	122
10	平木玲次	111	111

EXPRIT TOYOTA RACING



代表：高木政巳
監督：高木虎之介
ドライバー：宮田莉朋
メカニック：岡本康裕/高井美豪
使用マテリアル
CHASSIS：EXPRIT
ENGINE：TM
TYRE：DUNLOP

2014KF チャンピオン獲得！ 今シーズンのご支援ありがとうございました。

全日本 & 地方選手権地域シリーズ

TAKAGI PLANNING レーシングチームでは、若手
ドライバーの育成をテーマに、KFの下位カテゴリー

である全日本選手権地域シリーズ FS125 および地方
選手権地域シリーズ FS125 クラスへも参戦していま

す。直近の大会の結果は下記の通りです。若手ドライ
バーの活躍にもご期待ください。

東西統一最終戦 10月26日 晴れ/DRY

●全日本選手権 FS125 クラス (26台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	6 山内飛侑	A TEAM motorsport	CRG	IAME	BS	38.556	1 1
2	18 横川隼人	R T-エイベックス	TONYKART	IAME	BS	38.663	2 3
3	22 小川颯太	モリシタレーシング	CRG	IAME	BS	38.674	3 24
4	19 太田格之進	MEIJU RACING	CRG	IAME	BS	38.739	6 7
5	20 澤田真治	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	BS	38.781	8 9

※澤田真治はランキング3位で今シーズンの全日程を終えました。

西地域第5戦鈴鹿大会 9月28日 晴れ/DRY

●全日本選手権 FS125 クラス (17台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	6 山内飛侑	A TEAM motorsport	CRG	IAME	BS	50.115	1 1
2	26 水野皓稀	A TEAM motorsport	CRG	IAME	BS	50.219	2 3
3	16 三宅淳詞	KART KOZO Racing	LH	IAME	BS	50.576	9 2
4	14 丹沢慧斗	Tech Miyazawa	KOSMIC	IAME	BS	50.409	5 4
5	28 稲寄速人	FA-KART RT+HKC	FA-KART	IAME	BS	50.433	6 9
11	20 澤田真治	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	BS	50.339	3 6

●地方選手権 FS125 クラス (23台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	23 環 優光	エマティ	TONYKART	IAME	DL	50.707	1 1
2	15 親川謙心	TIGRE	SWF	IAME	DL	51.003	5 3
6	30 神 晴也	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	DL	51.189	12 7
7	22 宮下源都	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	DL	51.244	13 6
12	20 木村暖人	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	DL	51.178	10 8
20	21 井本大雅	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	DL	51.179	11 10

東地域第5戦本庄大会 9月21日 晴れ/DRY

●地方選手権 FS125 クラス (11台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	23 佐藤 蓮	フラックス MS	TONYKART	IAME	DL	39.829	4 3
2	11 名取鉄平	アステック	BIREL	IAME	DL	39.547	1 2
3	16 大川太郎	K.SPEED WIN	ART	IAME	DL	39.736	2 1
4	21 武井遼斗	レーヴ RT	TONYKART	IAME	DL	39.803	3 4
5	20 神 晴也	TAKAGI PLANNING	EXPRIT	IAME	DL	39.845	8 8
6	25 加藤裕一	ガレージ C	SPIRIT	IAME	DL	39.841	5 11

